

平成 30 年第 3 回東海村議会定例会行政報告等要旨

平成 30 年 8 月 31 日

おはようございます。

平成 30 年第 3 回東海村議会定例会の開会に当たり、行政報告等を申し述べさせていただきます。

はじめに、先の「平成 30 年 7 月豪雨」により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。今後は、1 日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

次に「平成 30 年度東海村広域避難訓練」についてでございます。

去る 7 月 16 日に、原子力災害の発生を想定した第 2 回広域避難訓練としまして、避難先自治体の一つであります取手市のほか、警察・自衛隊等の協力を得て、約 400 人、20 機関の参加のもと、災害対策本部設置運営訓練や住民広報・住民避難活動訓練、災害対策本部機能移転訓練の実動を通し、緊急事態の進展に応じた対応・体制の確認をしたところでございます。

訓練は、全体を通して概ね円滑に実施できたと思っておりますが、一方で、課題としまして、代替災害対策本部等との情報伝達や避難者の受け付け、防災行政無線等による住民広報の内容、避難所の暑さ対策などがあげられ、これらについ

て改善・解決策を講じるとともに、広域避難についての住民の理解普及を図り、現在策定中の広域避難計画の実効性向上に結び付けてまいりたいと考えております。

続きまして、「アイダホフォールズ市学生訪問団の来村」についてでございます。

去る7月26日に、国際親善姉妹都市である米国アイダホフォールズ市から学生15名、引率者3名の計18名からなる訪問団が来村しました。

来村した学生たちは、8月6日までの12日間、ホストファミリー宅に滞在し、東海中学校での部活動体験や東海高校茶道部による茶道体験、東海村書道連盟の協力による書道体験など、様々な活動を通じて日本の文化や習慣を学ぶとともに、村民との交流を図りました。

本年10月には、東海村からアイダホフォールズ市への一般訪問団派遣を予定しており、引き続き国際親善姉妹都市の盟約に基づき、両市村民の理解と友情を深めながら、親善を促進してまいりたいと考えております。

最後に、8月12日にアイヴィルにて開催した「とうかいスポーツフォーラム」についてでございます。

こちらは、とうかい国体盛り上げ隊のキックオフイベントとして開催したもので、プロバスケットボールクラブ茨城ロボッツの^{やまやたかし}山谷拓志さんによる講演やホッケー関係者も交えたパネルディスカッションを実施いたしました。「ホッケーを盛り上げる」のではなく「ホッケーで盛り上がる」へと発想

を転換し、ホッケー日本一の街を目指そうと熱い議論が展開されました。

また、8月17日から20日までの4日間、阿漕ヶ浦公園と東海高校で福井国体ホッケー競技の関東ブロック大会が開催されました。残念ながら茨城県チームは代表の座を勝ち取ることができませんでしたが、関東各都県から多くの選手や応援団が来村し、大いに盛り上がったと感じています。この盛り上がりを来月に同会場で開催されるリハーサル大会に繋げ、来年の茨城国体に向けて準備を万全に整えるとともに、引き続き村民の興味関心が高まるよう「ホッケーで盛り上がるまち」を展開したいと考えております。

それでは、行政報告の案件を申し上げます。

報告第10号 平成29年度東海村一般会計継続費精算報告につきましては、住居表示事業及び東新川改修工事（第1期）において、継続年度が終了しましたので、地方自治法施行令第145条第2項の規定により、議会に報告するものでございます。

報告第11号及び報告第12号 平成29年度健全化判断比率の報告及び平成29年度資金不足比率の報告につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び

第22条第1項の規定により、監査委員の意見を付けて議会に報告するものでございます。

報告第13号 平成29年度公益財団法人東海村文化・スポーツ振興財団決算等の報告につきましては、公益財団法人東海村文化・スポーツ振興財団から平成29年度の決算等の報告がありましたので、地方自治法第243条の3第2項の規定により、議会に報告するものでございます。詳細につきましては、別紙報告書のとおりでございます。

以上で行政報告といたします。